



芸術学部 デザイン学科 准教授

木下 裕士 KINOSHITA Hiroshi

文章では難解な情報を分かりやすくマンガに翻訳する ～社会に伝わるメディアとしての「機能マンガ」という表現～

キーワード 🔍 »

マンガ、解説書、実用書、機能マンガ

研究シーズ概要 📖 »

多くの人から親しまれ、読まれ続けているマンガには、文章などでは伝わりにくい情報もストーリーに乗せることで、わかりやすく相手に伝えられる特性を持っています。

同じく情報の伝わりやすい映像メディアなどと比較しても、読み手自身のペースで読み進めることができるため、しっかりと内容を咀嚼し理解することができるなど、マンガは情報伝達ツールとして非常に優れていると考えられます。

そういったストーリーマンガの特性を活かし、難解な解説書などの内容をマンガという言語に「翻訳」することで、多くの人に手にとってもらいやすく、より伝わる情報を発信することが出来ます。

こういった作品は「実用マンガ」と広く定義されていますが、社会に対してより深く機能するという意味を込められたものは「機能マンガ」と呼ばれています。

この「機能マンガ」について、より効果的に情報を伝達できる手法や、マンガならではの表現方法などを追求しています。

■マンガを使った解説書の実例



自社製品・技術のPR用マンガ解説書(株式会社ツー・ナイン・ジャパン発行)

利点・特長・成果 📄 »

わかりにくい法律や社内ルールなどの実例をマンガとして表現することで、より深い理解を促すことが出来ます。

開発秘話などの製品や研究に内包されたストーリーを紹介することで、その開発意図や経緯を明確に伝えることができます。また機能・効能などもストーリーマンガの手法で量感的に提示することができます。



ライフサイエンス



バイオ食品



ナノテク材料



情報通信電気電子



建築・環境土木



機械エネルギー



デザイン美術



その他